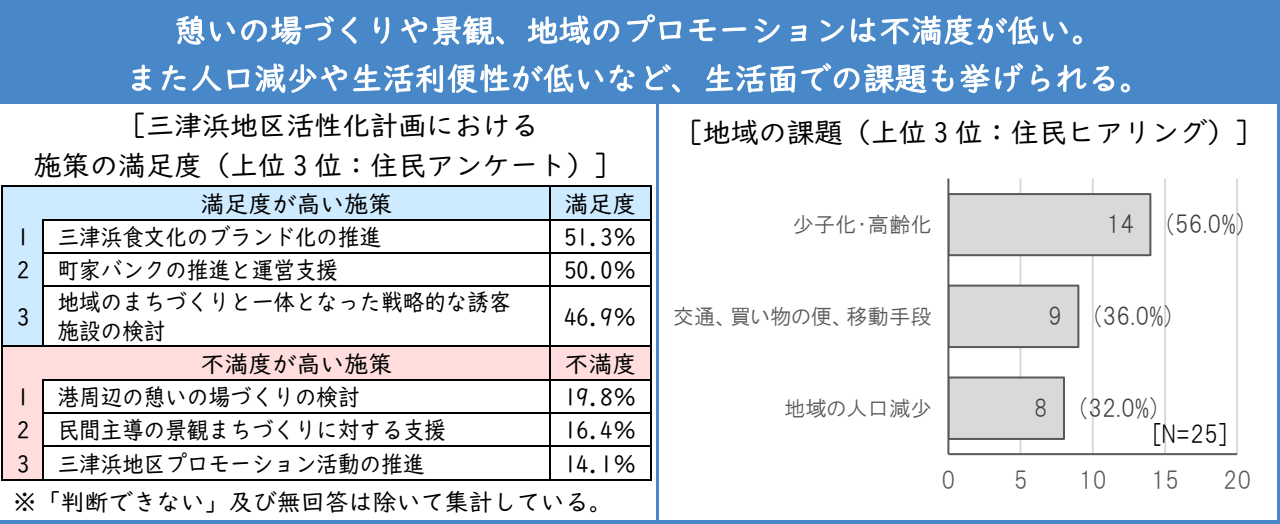


三津浜・梅津寺 地域

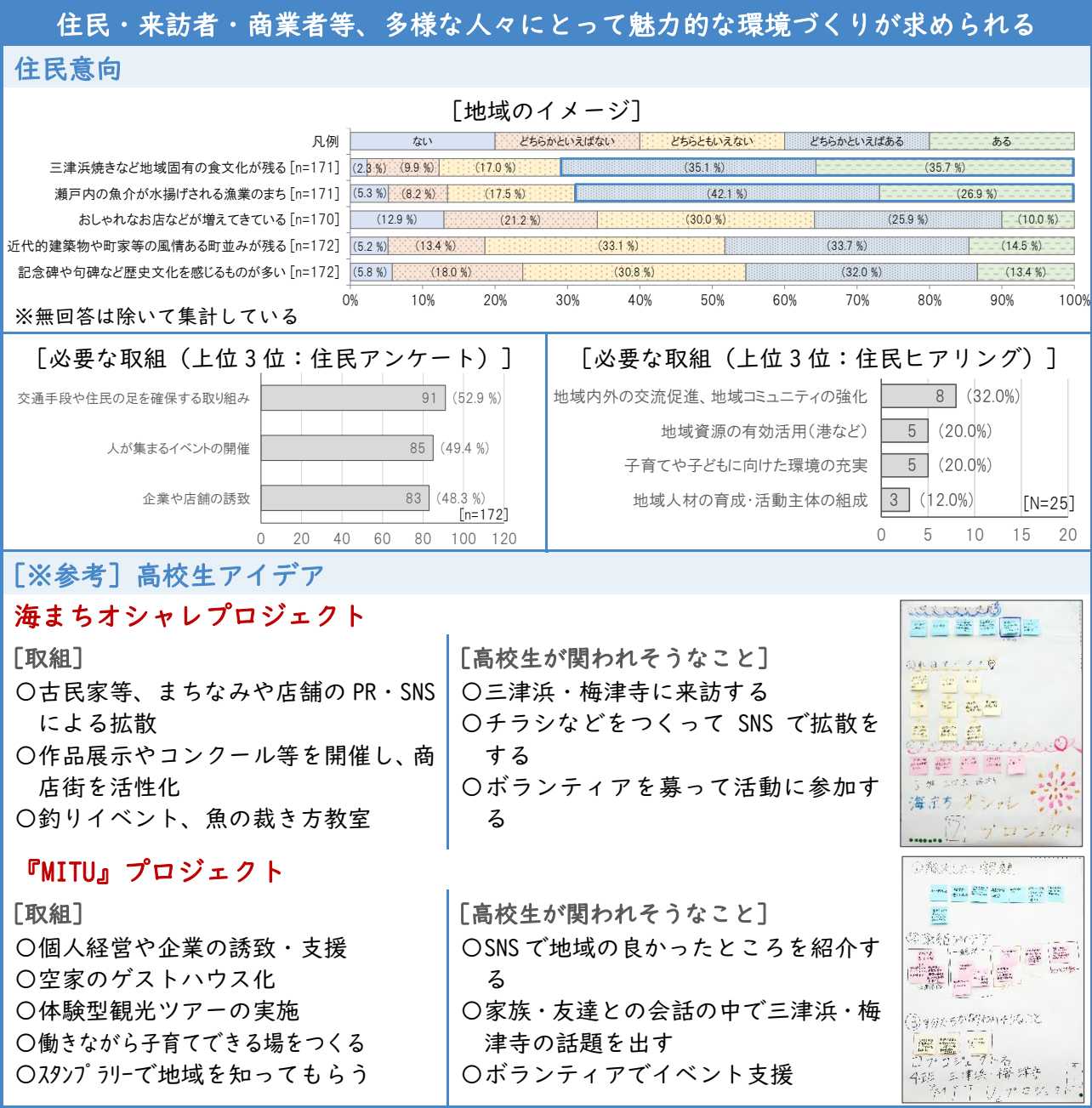
■課題



三津浜の食文化や町家の活用等については、満足度が高いものの、憩いの場づくりや、景観まちづくり、地域のプロモーションについては、課題と捉えられています。

また、住民ヒアリングでは、人口減少・少子高齢化や交通等、生活利便性の面において課題が挙げられています。

■必要なまちづくり



地域固有の食文化や漁業のまちとして強いイメージがありますが、課題にも挙げられていたように、地区のプロモーションを課題に感じる住民も多いことから、イベントや地域資源の有効活用によって地域内外の交流を推進していくことを実施すべきという声が強くなっています。

また、憩いの場づくりや景観まちづくりに課題感があるほか、「おしゃれな店が増えてきている」といったイメージが低いことや、企業・店舗の誘致について取り組むべきといった意向も強い状況です。生活利便性の向上等も含め、これまで実施してきた町家等の活用も推進しながら、住民や来訪者、店舗等、多様な人々にとって過ごしやすい、魅力的な環境づくりを行っていくことが必要なまちづくりとして考えられます。

三津浜・梅津寺 地域

■今後のまちづくりの方向性（イメージ）

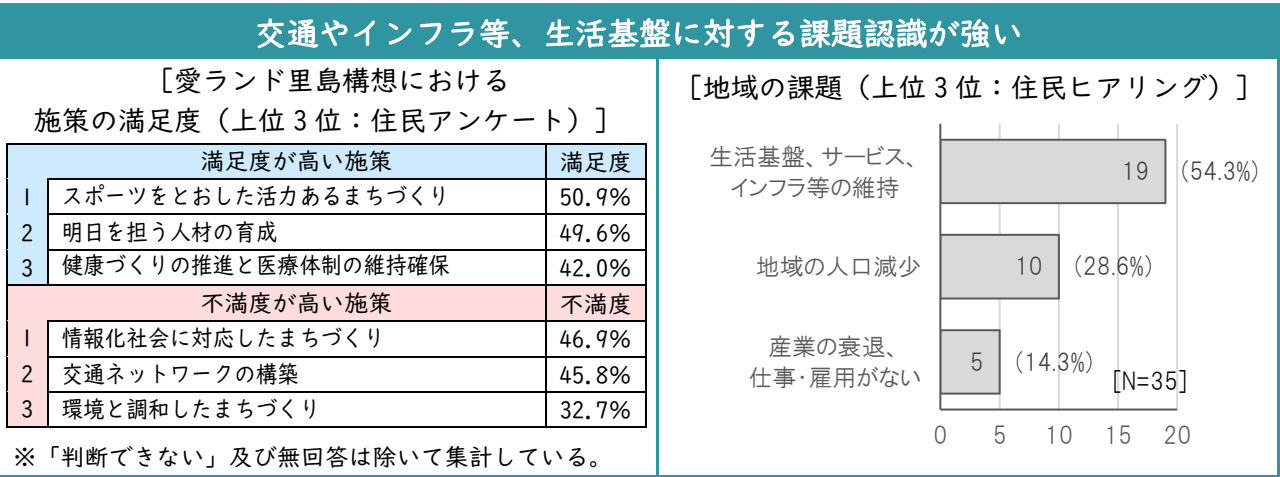
[めざすまちの姿]
●●●のまち
[実現に向けた方針]
1. 地域の歴史・町並みや食文化の情報発信 ●「三津の渡し」をはじめとした港町ならではの歴史の共有・情報発信 ●港町の面影を残した古い町並のPR ●「三津浜焼き」などの独自の食文化の普及・情報発信
2. 地域を盛り上げる各主体が連携したまちづくり ●町家の活用団体等を中心とした町並みの保存 ●各種団体が協力した観光・賑わいづくりの推進 ●移住者や学生、地域に関わりたい人がまちづくりに参画しやすい場の創出
3. 多様な人々に親しまれる環境づくり ●個性的な町並みの回遊性を高める歩行環境・景観づくり ●地域のコミュニティを醸成する憩いの場づくり ●企業・店舗の誘致の推進
[定性目標]
○地域の町並みが、歩いていて楽しい、魅力的な空間になっている。 ○地域に注目してくれるファン（移住者、来訪者、協力者等）が増えている。

■今後のまちづくりの方向性（メモシート）

[めざすまちの姿]
[実現に向けた方針]
1.
2.
3.
[定性目標]

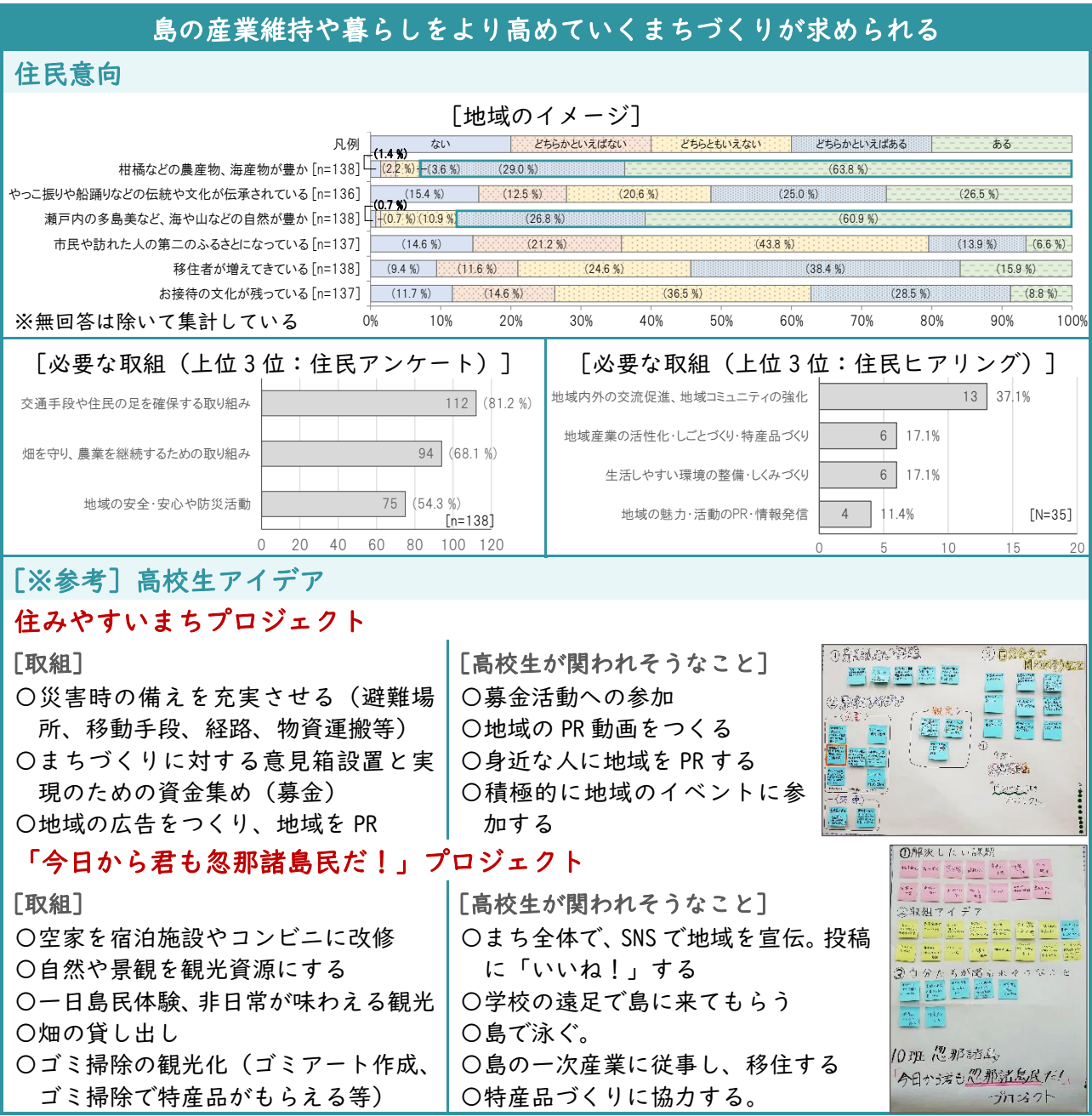
忽那諸島 地域

課題



「トライアスロン中島大会」をはじめとしたマリンスポーツ、レジャーによる満足度や明日を担う人材育成等においては、満足度が高い状況にありますが、特に交通やネットワーク環境、生活施設等、生活基盤における課題が住民の中で強い状況にあります。またこうした状況とあわせて、産業の衰退等も懸念されている状況です。

必要なまちづくり



〔※参考〕 高校生アイデア

住みやすいまちプロジェクト

〔取組〕

- 災害時の備えを充実させる（避難場所、移動手段、経路、物資運搬等）
- まちづくりに対する意見箱設置と実現のための資金集め（募金）
- 地域の広告をつくり、地域をPR

〔高校生が関われそうなこと〕

- 募金活動への参加
- 地域のPR動画をつくる
- 身近な人に地域をPRする
- 積極的に地域のイベントに参加する

〔取組〕

- 空家を宿泊施設やコンビニに改修
- 自然や景観を観光資源にする
- 一日島民体験、非日常が味わえる観光
- 畑の貸し出し
- ゴミ掃除の観光化（ゴミアート作成、ゴミ掃除で特産品がもらえる等）

〔高校生が関われそうなこと〕

- まち全体で、SNSで地域を宣伝。投稿に「いいね！」する
- 学校の遠足で島に来てもらう
- 島で泳ぐ。
- 島の一次産業に従事し、移住する
- 特産品づくりに協力する。

①解決したい課題

②取組アイデア

③自分たちが関われそうなこと

10班 忽那諸島
今日から君も忽那諸島民だ！
プロジェクト

柑橘をはじめとした農産物や豊かな自然について、特に地域のイメージとして定着していますが、特にこうした畑や産業を維持していく、活性化していくことが取組の方向性として、考えられています。また、地域内外の交流、コミュニティのほか、課題にも挙げられる交通や生活基盤、地域の安全性など、生活環境について底上げしていくための取組が必要と考える人が多い状況です。

忽那諸島 地域

■今後のまちづくりの方向性（イメージ）

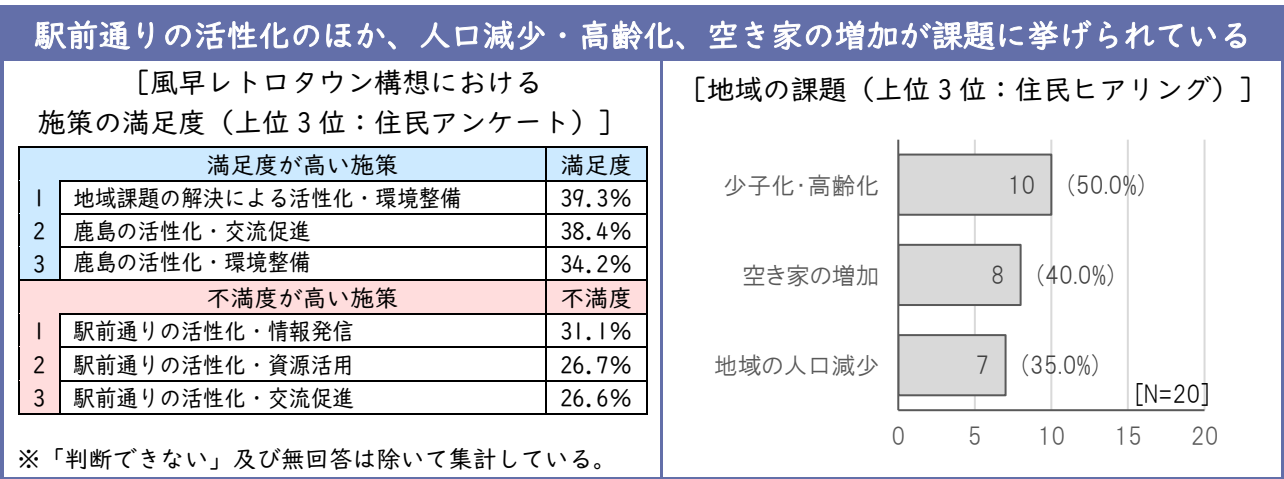
[めざすまちの姿]	
●●●のまち	
[実現に向けた方針]	
1. 島の産業や魅力を体感してもらえる取組の推進	
●柑橘をはじめとした島の産業、暮らし、環境のPR	
●島の産業や暮らしを体感できる体験・プログラムづくり	
2. コミュニティ強化で安心して暮らせる環境を創出	
●住民同士の交流の場・機会（地域の悩みを共有する場）の創出	
●防災等を含めた持続的な暮らしを維持するためのまちづくり・コミュニティの検討	
3. 多様な暮らし・チャレンジを受け入れる環境の創出	
●空き家情報の継続的な提供	
●二地域居住をはじめ、柔軟・多様な暮らし方を受け入れる環境づくり	
[定性目標]	
○島の産業などに興味を持つ人（就業希望者、協力者）が増える	
○島で安心して生活できている（不安が少なくなる）。	

■今後のまちづくりの方向性（メモシート）

[めざすまちの姿]	
[実現に向けた方針]	
1.	
2.	
3.	
[定性目標]	

風早 地域

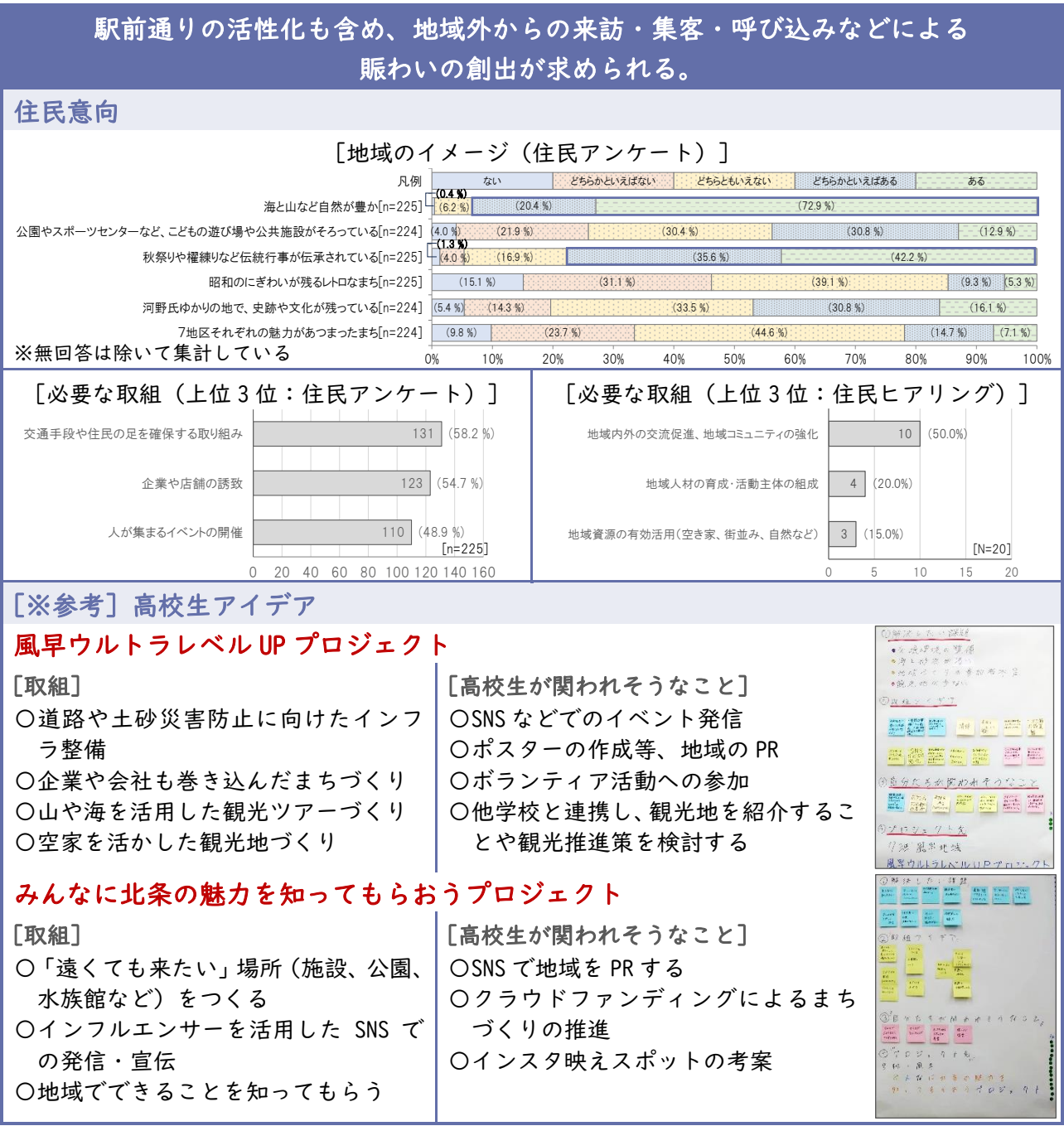
■課題



環境整備や鹿島の活性化に関する取組については、満足度が高いものの、駅前通りの活性化についての課題が住民の中で強い状況にあります。

また、人口減少や少子高齢化に加え、空き家の増加についても地域の課題として挙げられている。

■必要なまちづくり



自然が豊かさや伝統行事の伝承が特に地域のイメージとして強いものの「昭和のにぎわいが残るレトロなまち」というイメージは低い状況であり、課題である駅前通りの活性化も含め、交流促進や企業・店舗の誘致、イベントの開催など、地域外からの来訪・集客・呼び込みなどによる賑わいの創出が求められています。

風早 地域

■今後のまちづくりの方向性（イメージ）

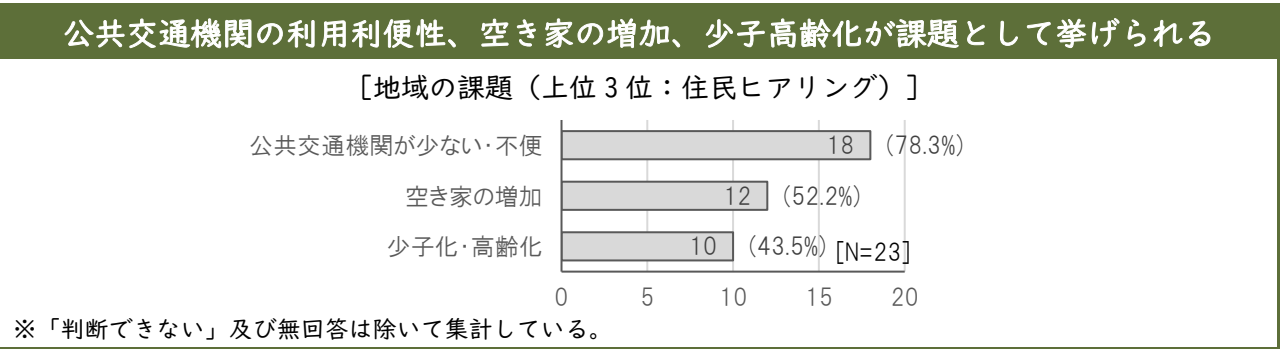
[めざすまちの姿]	
●●●のまち	
[実現に向けた方針]	
1. 駅前通りを中心とした魅力向上と交流の活性化	
●駅前における景観整備	
●商店の魅力向上に向けたまちづくりによる店舗誘致	
2. 地域の伝統や風景を引き継いでいくためのまちづくり	
●伊予万歳、鹿島の階練り、獅子舞等、各地域で継承される伝統行事の継承	
●エヒメアヤメ、コスモス畑等、地域を特徴づける景観の維持・継承	
●伝統行事・景観を継承していくための後継者の育成	
3. イベント・交流を通じた地域の魅力・文化の発信	
●「風早にぎわいレトロまつり」「かざはや楽市」などのイベントの継続運営	
●「北条鯛めし」などの食文化の発信の場の創出	
●住民、団体、学校等、多様な主体と協力した地域の魅力発信	
[定性目標]	
○駅通りについて人通りや賑わいが向上している	
○地域の伝統やまちづくりを担う団体・後継者・担い手が増えている	

■今後のまちづくりの方向性（メモシート）

[めざすまちの姿]	
[実現に向けた方針]	
1.	
2.	
3.	
[定性目標]	

久谷・砥部 地域

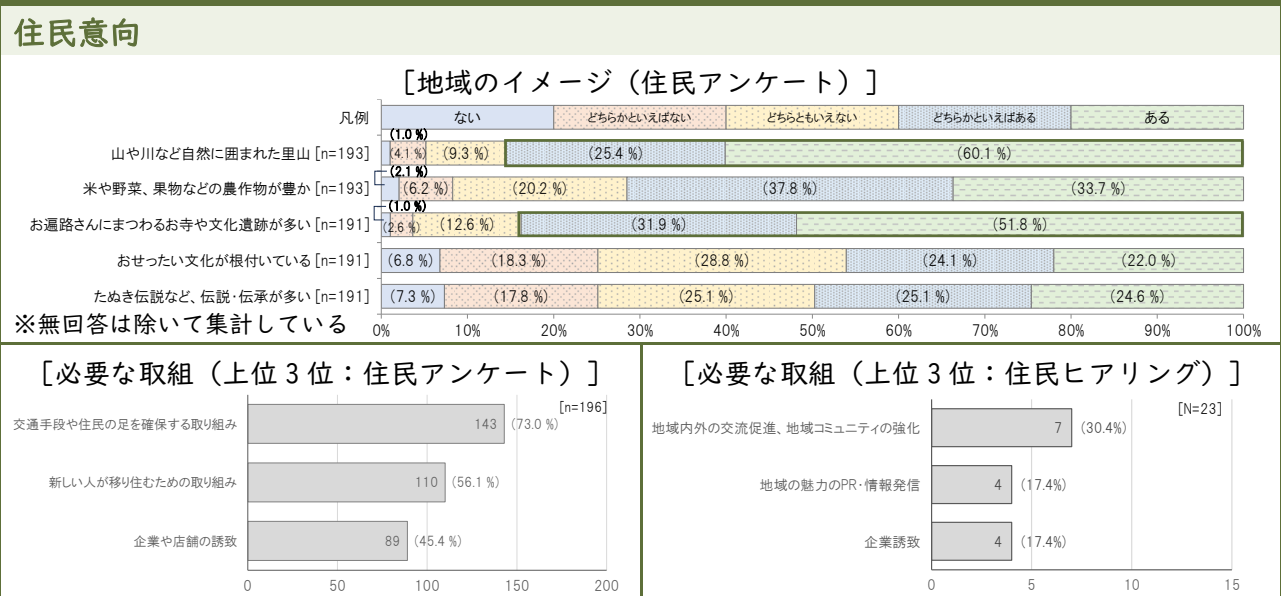
■課題



久谷・砥部地域においては、公共交通機関の利用利便性、空き家の増加、少子高齢化についての課題が住民の中で強い状況にあります。

■必要なまちづくり

地域内外の交流のほか、移住や企業・店舗の誘致、魅力のPRなどによる地域の活性化が求められている



〔※参考〕高校生アイデア

久谷へGo～！！どこでも砥部ドアプロジェクト

〔取組〕

- 交通の便・利用しやすさの改善
- 医療・福祉の充実
- 治安の良さ、自然の豊さをPRし、移住者を増やす
- 久谷の歴史を伝える場や、砥部焼などの資源をPRする場をつくる

〔高校生が関われそうなこと〕

- 伝統や文化を知る
- 地域を巡り「知られざる砥部・久谷の魅力」をPRする
- 地域のイベントや活性化のプロジェクトに参加する

過疎化を阻止－今の久谷・砥部を造るために－

〔取組〕

- インパクトのあるコンテンツ・取組を地域につくる(恋愛リアリティ番組の場、美容整形、サッカークラブ、スキー場、砥部焼アニメ、サファリパーク、心霊スポット、アイドルグループ、温泉パーク等々)

〔高校生が関われそうなこと〕

- 砥部を好きでいつづける
- 自身が有名になり砥部を宣伝する
- 友達と砥部に遊びに行く
- 砥部の話題を広げる

自然に囲まれた里山や、お遍路さんにまつわるお寺や文化遺跡などのイメージが住民の中で強くなっています。こうした中、地域内外の交流、地域コミュニティの強化が必要な取組として求められています。また、交通手段の確保のほか、移住や企業・店舗の誘致、魅力のPRなどによる地域の活性化が住民において求められています。

久谷・砥部 地域

■今後のまちづくりの方向性（イメージ）

[めざすまちの姿]
●●●のまち
[実現に向けた方針]
1. お遍路文化を活かしたまちづくりの推進 ●坂本屋を中心としたお遍路文化や地域資源の維持・継承 ●お接待文化・取組の維持・推進
2. 多様な主体と連携した地域資源の活用促進と情報発信 ●「フィールドミュージアムアカデミー久谷カレッジ」をはじめとした、地域資源の再評価・有効活用の推進 ●大学をはじめとした多様な主体との連携による、地域資源の活用推進・魅力発信
3. 地域コミュニティの強化による地域の課題解決 ●空家増加への対策等、地域のまちづくり体制強化による地域課題の解決推進 ●地域コミュニティの強化等による賑わい創出や住みやすさの向上
[定性目標]
○地域文化に関心を持つ人（担い手・関係人口等）が増えている。 ○地域資源を活用したまちづくりが様々な展開されている

■今後のまちづくりの方向性（メモシート）

[めざすまちの姿]
[実現に向けた方針]
1.
2.
3.
[定性目標]